



2021年1月14日

各 位

会社名：住江織物株式会社
代表者名：取締役会長兼社長 吉川 一三
(コード番号 3501 東証第一部)
問合せ先：取締役経営企画室部長 薄木 宏明
(TEL 06-6251-6803)

通期業績予想および剰余金の配当（中間配当）並びに期末配当予想に関するお知らせ

2020年7月14日に公表しました2020年5月期決算短信〔日本基準〕（連結）において未定としておりました2021年5月期の連結業績予想および配当予想について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想について

(1) 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | — | — | — | — | — |
| 今回修正予想（B） | 81,400 | 868 | 860 | 85 | 13 46 |
| 増減額（B－A） | — | — | — | — | — |
| 増減率（％） | — | — | — | — | — |
| （ご参考）前期実績 （2020年5月期） | 91,512 | 1,557 | 1,323 | 142 | 21 88 |

(2) 理由

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により当社グループの事業に与える影響の見極めが困難であったことから発表を延期しておりました。

インテリア事業では、国内の新設住宅着工戸数の前年同月比減少が続き、非住宅分野でも着工面積が伸び悩む一方で、外出自粛によるオンライン販売は好調に推移しています。また、自動車事業では、海外各国でのロックダウンに伴う工場稼働停止などで大きく減少していた日系自動車メーカーの生産台数が、地域ごとに差はあるものの様に回復基調にあり、特に中国では順調な回復が続いています。日本国内では、2020年4～5月の緊急事態宣言の影響を受けて生産台数が大きく減少しましたが、9月には前年同月並みまで回復しました。

2021年1月より発出された緊急事態宣言の影響など、今後の事業環境には依然として不透明な部分がありますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2021年5月期の通期連結業績予想を公表いたします。

2. 剰余金の配当（2021年5月期中間配当）および期末配当予想の公表について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 | 前期実績 (2020年5月期中間) |
|----------|-------------|---------|----------------------|
| 基準日 | 2020年11月30日 | 同左 | 2019年11月30日 |
| 1株当たり配当金 | 15円00銭 | 未定 | 35円00銭 |
| 配当金の総額 | 94百万円 | — | 228百万円 |
| 効力発生日 | 2021年2月9日 | — | 2020年2月10日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 期末配当予想の内容

| 基準日 | 1株当たり配当金 | | |
|--------------------|----------|--------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 前回予想 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 配当予想 | | 20円00銭 | 35円00銭 |
| 当期実績 | 15円00銭 | | |
| 前期実績 (2020年5月期) | 35円00銭 | 15円00銭 | 50円00銭 |

(3) 理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、安定的に配当を維持することを基本方針としており、剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としております。

2021年5月期の中間配当につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を勘案し未定とさせていただいておりましたが1株当たり15円、期末配当予想につきましては1株当たり20円とさせていただきます。

※ 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上